

ぽっかぽか きりん 6月

5月はみんなの待ちに待った遠足がありました。当日は天気にも恵まれ全員で楽しむ事ができ、子ども達にとっても記憶に残る1日になったようです😊梅雨に入り、室内で過ごす時間も増えてきます。机上遊び以外にも、室内で身体を動かせる場を設け、楽しみながら、その後にやってくる夏にも負けない体づくりをしていきたいと思っています😊

いのちのかかわり

暖かくなってきてから、アリやてんとう虫、ダンゴムシ等、長久保公園には様々な虫たちが現れてきました。虫の観察が大好きな子ども達は、“虫を捕まえたい!”と夢中になって虫探しをしています。

その中でよくあるのが、捕まえようと思ったら潰れて動かなくなっちゃった…、最初は元気だったのにたくさん触ってたら弱ってきた…というようなことです。そのような場面を見ると、つい「虫が可愛そうだよ!」と言いたくなるのですが、この経験が“命を知る”きっかけになっています。

上記のようなことがあった時には、次はどのように捕まえたらいのか、虫の元気がなくなってしまうのは何でなのか等を考えてみえています。そうすることで、子ども達は考え、生き物を大切にしたいという気持ちも自然と芽生えてきているように感じます。

きりん組では、カブトムシの幼虫を4匹飼い始めました。図鑑で幼虫や成虫を見て、「早く大きくならないかな〜」と成長を気にする子もいます。幼虫と成虫で姿はもちろん、食べ物が変わることに対しては「なんで幼虫はゼリーを食べないんだろう」と色んな疑問がわく子ども達です。育てる中で、“世話をする”という経験もしています。先日、土の掃除をしていたところ、1匹の幼虫が亡くなっていました。数日前まで元気に動いていたこともあり、「寝たふりをしているんじゃない?」と考えている子もいました。土に返す時には「赤ちゃんなのに死んじゃってかわいそう…」「早くお空に帰ってね」「いつまでも元気でね」と気持ちに寄り添う言葉が自然と子ども達から出ていました。死んでしまうことは悲しい事ですが、“命について考える”ことができた瞬間であり、みんなにも大切な命があると知ることができました。

植物では、去年の夏から育てているねぎに加えてトマトとしそをクラスで育て始めました!ネギは伸びたらその場で収穫して給食の汁物に入れるのがみんなの楽しみに。“収穫”という言葉も覚え、植えて間もないですが、収穫の気合い満々です!😊今年度もみんな協力しながら、野菜を育てて、プチクッキングなんかができたらいいな…!なんて考えています。

アート

年中クラスから回数が増えたアート。頻度が上がったこともあってか、“聞く場面”“描く場面”で気持ちを切り替えて参加することが身についてきたように感じます。以前は指示の途中で描き始めたり、発言で指示を止めたり…ということもありましたが、「どうぞ」と言われてから描けるようになったことで、やるのがわかり、大人の支援なく描ける子も増えてきました。また、色の理解も高まり、先生の言った色をすぐに選び取れるようになったところも成長を感じています。

アートが始まった年少の9月頃は、“間違えること”への不安をもっている姿もみられました。『アートに失敗はないよ』これはかほる先生が繰り返し子ども達に言ってくれている言葉です。この言葉はみんなが安心してチャレンジできる環境はもちろん、相手を認められるきっかけにもなっているなど感じています。作品を展示すると「○○ちゃんのお花可愛いね」「○○くんの鯉のぼりカッコいいなあ」と感想を言い合う姿が増え、仲間を認め合える関係って素敵だなあとほっこりします(*^-へ^-*)

個人での成長はもちろん、集団としてもより良い関係を気付くきっかけになっているアートです!